



栗ヶ岳 整備計画 提言書

概要版

平成 29 年

掛川市 栗ヶ岳整備計画策定委員会



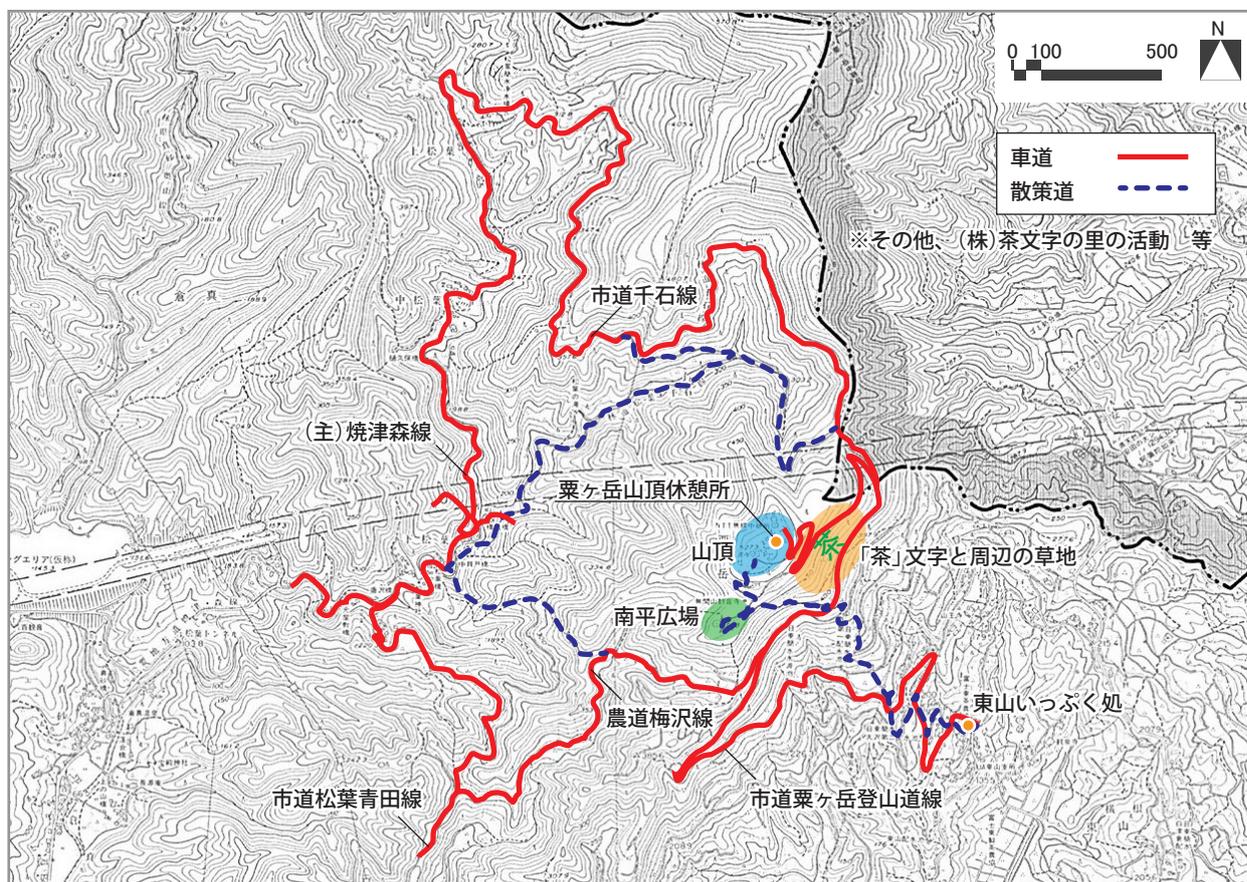
はじめに

計画策定の目的

近年の長引く茶価の低迷や農業後継者不足、農業従事者の高齢化などにより地域の活力の低下が懸念されるなか、平成25年に静岡の茶草場農法が世界農業遺産に認定されたことや、平成26年の山頂休憩所運営者の交替、平成27年の(株)茶文字の里東山の設立など、粟ヶ岳を取り巻く環境は変化しています。

このようなことから、粟ヶ岳周辺の魅力的な地域資源を有効活用して、交流人口の拡大や地域の活性化に繋げていくために、現在の社会情勢や地域の状況を踏まえ、地域住民や専門家等と意見を交換しながら、山頂休憩施設のあり方や茶文字の保全継承方策、あるいは地域活動のあり方などをとりまとめた、「粟ヶ岳整備計画」を策定しました。

計画の対象



1 栗ヶ岳整備の目標と大切な考え方

目標テーマ

**固有の自然環境や歴史文化を活かし
多くの人を訪れ 多くの人で守られる
栗ヶ岳を創造する**

栗ヶ岳整備における大切な考え方

1 栗ヶ岳の茶草場農法を継承します

世界農業遺産に認定された栗ヶ岳の茶草場農法が、本市の良質な茶を生産する農法であることに加え、静岡県あるいは我が国の貴重な歴史文化資源、自然資源であることを認識し、地域住民や市が主体となりつつ多様な主体と連携し、本農法の継続を図り、後世に継承していきます。

2 栗ヶ岳独自の自然環境を保全活用します

茶草場農法で保たれる栗ヶ岳の生物多様性、山頂部の豊かな森林、あるいは多くの桜など、四季折々の姿を見せる美しい自然環境が残されていることから、これらの自然環境の保全継承を基本としつつ、栗ヶ岳の活性化のために有効に活用します。

3 栗ヶ岳固有の地域資源を活かして交流人口の拡大に繋がります

栗ヶ岳の自然環境や茶草場農法の歴史文化、山頂から優れた眺望、栗ヶ岳を支える地域住民の活動等、栗ヶ岳の貴重な地域資源を活かした交流人口の拡大方を推進し、地域資源の保全や周辺地区の活性化に繋がっていきます。

4 3地域と市及び各種団体が連携して計画を推進します

栗ヶ岳に接する、東山、栗本、倉真の3地区と市が連携して主体となりつつ、他市民や県民、国や県の行政機関、あるいは地区内外の事業者や各種団体等、多様な主体と協働し、本計画に基づく事業や取組の実践を図ります。

2 目標を達成するための事業や取組の

1) 世界農業遺産である茶草場農法を守り後世に継承します

① 企業と連携した茶草場管理

地元住民が主体となりつつ、企業が茶草場管理をサポートする等企業 CSR を活用した茶草場管理の体制づくりについて検討を進めます。

② 中山間地域直接支払補助事業制度の活用

中山間地域直接支払補助事業を制度終了年である平成 31 年度まで継続運用しつつ、平成 32 年以降も制度継続するよう努めます。

③ 茶草場農法応援基金等の活用

国の環境直払制度等への要望や今後の茶草場農法応援基金等の活用について検討を進めます。

④ 茶草場農法の優位性の研究

現在、茶草場農法で栽培された茶の優位性を数字等で示すために、県の茶業試験場や大学との連携によ

る茶草場農法の土壌の科学的分析を継承するとともに、今後も「静岡の茶草場農法」推進協議と市、住民、大学等との連携による研究を進めます。

⑤ 獣害対策の推進

ニホンジカやイノシシなどによる獣害被害の低減のために、猟友会に駆除の委託を継続していきます。



干した茶草を細断する様子



粟ヶ岳の茶文字

2) 魅力あふれる粟ヶ岳山頂をつくります

(1) 山頂全体の整備改修に関する事項

① 山頂部の案内サインの改修

既存サインと統一感のある案内サインを周辺施設や自然景観との調和に配慮して設置を進めます。

② 山頂部の遊歩道の改修

山頂部の遊歩道は、随時倒木等の撤去を進めるとともに、老朽箇所の改修等を進めます。

(2) 山頂休憩所の整備改修に関する事項

③ 世界農業遺産ビジターセンターの整備

山頂休憩所は、世界農業遺産ビジターセンターとして「お茶の郷」のサテライト施設の設置による施設の新築あるいは改築計画を進めます。

④ 山頂トイレの改修

出来る限り早急に、山頂休憩所の整備改修にあわせて、洋式トイレへの変更を進めます。

(3) 南平の整備改修に関する事項

⑤ 南平のトイレの維持管理の推進

南平広場のトイレの維持管理、草刈りについては、市と地元住民と協働で進めます。

⑥ 南平の休憩施設の改修

南平広場の休憩施設は老朽化が激しいことから、改修を進めます。

⑦ 南平へのアクセス道路の整備

市道粟ヶ岳登山道線から南平広場を繋ぐ道路の整備方針を検討し、市と地元住民と協働で進めます。



山頂部の案内サイン



山頂休憩所



南平トイレ



南平アクセス路 (位置図)

3) 安全で快適なアクセス道路をつくります

(1) 自動車道の整備改修に関する事項

① 待避所の設置及び補修

待避所の追加設置、既存待機所の補修については、地区からの要望に基づき、具体的な箇所を把握し、検討していきます。

② 道路側溝の改善

側溝蓋の設置、L型側溝への変更、あるいは側溝の落ち葉除去については、地区要望を踏まえて、今後も継続して対応をしていきます。

③ 道路沿道への案内サインの設置

周辺施設や自然景観との調和に配慮して道路沿道へのサインの設置を進めていきます。

(2) 散策道の整備改修に関する事項

④ 散策道沿道への休憩広場の整備

東山いっづく処からの散策道上の、眺望がよく、一定スペースが確保できる場所を、休憩ポイントとして位置づけ、ベンチや案内サインの設置を検討します。

⑤ 自然散策道の改修

東山いっづく処からの散策道、高標高部の自然道区

間の丸太土留め段の改修が必要な箇所については、出来る限り早急な改修を進めてきます。

⑥ 新規散策道の整備

倉真まちづくり協議会が中心となり、市及び他地区等と連携して倉真地区と粟ヶ岳山頂を結ぶ新規散策道の整備を進めます。

⑦ 散策道沿道へのトイレ整備の検討

いっづく処から山頂までの散策道及び倉真地区から山頂までの散策道の途中に、トイレ設置について検討を進めます。

⑧ 散策道沿道への案内サインの設置

市と各地区のまちづくり協議会等が協議を踏まえ、散策道沿道への案内サインの設置を推進します。

(3) 土砂災害等への対応

⑨ 土砂災害等への対応

計画対象となる自動車道や散策道において、崩れた土砂除去は、今後も継続して早急な対応に努めていきます。



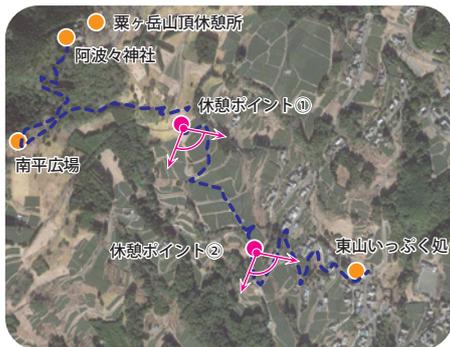
車道の側溝



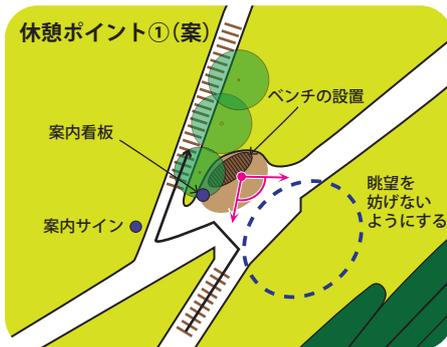
案内サイン



老朽化した散策道



休憩ポイントの整備の考え方1



休憩ポイントの整備の考え方2



粟ヶ岳公園整備計画に基づき設置された散策道沿道の案内サイン

4) 粟ヶ岳固有の美しい景観を守り高めます

① 粟ヶ岳周辺の景観誘導

東山いっぴく処の周辺や粟ヶ岳登山道、散策道の沿道の集落がより魅力的な景観となるよう、住民と共に、粟ヶ岳景観マスタープラン（仮称）を検討します。

② 眺望景観の保全と新たな眺望の確保

粟ヶ岳山頂から北東方向の眺望や粟ヶ岳南側斜面、南平等からの眺望を確保するよう、眺望を阻害している樹木について、住民と市が協議しつつ、剪定等の対応を進めます。

③ 老朽桜の改植計画の策定

粟ヶ岳山頂及び粟ヶ岳南側斜面、南平等に見られる桜の老木については、植栽計画を検討した上で、伐採及び改植を進めていきます。また、市と住民、地権者及び専門家等が協力し、オーナー制度の導入も検討します。

④ 道路防護柵の改善

当該地区の道路沿道のガードレールは、ベージュ系の色彩で順次改修を進めてきます。



眺望を妨げる草木（南平）



桜の老木（粟ヶ岳南側斜面）



5) 地元主体と多様な主体が連携した交流プログラムを展開します

(1) 多主体連携による交流プログラムの実践

① 森林を活かした交流プログラムの実施

山頂部全体の公園的整備にあたっては、自然環境との触れ合いの場としてのコンセプトを位置づけ、運営者と市が協働で森林を活かしたプログラムの実施を検討します。

② 粟ヶ岳に係るまちづくり協議会等の活動推進

東山、粟本、倉真のまちづくり協議会、(株)茶文字の里東山においては、粟ヶ岳の保全活動や粟ヶ岳を活用した交流プログラムの実践、あるいは茶草場農法保全に関する活動等を、長期的に実践していきます。また、東山、粟本、倉真の3地区のまちづくり協議会が連携し、粟ヶ岳の保全活用等に関する新たな取組を推進していきます。

③ 外部団体等との連携

(株)茶文字の里東山等は、多様な市民団体や活動団体等と連携し、イベント情報の相互発信、共同によるイベント開催などを実践していきます。

(2) 新たな交流拠点の整備

④ 新たな交流拠点の整備の検討

倉真地区において、来訪者が休息でき、地区と触れ合うことができ、かつ既存施設と連携した運営ができる新たな拠点整備について検討します。

(3) 多様な情報受発信

⑤ 情報受発信環境の改善

山頂において、携帯電話の電波改善、光ファイバーケーブル整備等の高速通信網整備等、情報受発信環境の改善を検討します。

⑥ 粟ヶ岳の魅力の情報発信

阿波々神社が縁結びの神社であること、あるいは山頂からの夜景や眺望の美しさ等、粟ヶ岳の多様な魅力が口コミで広がるよう、HPやSNSを活用して山頂部の魅力を発信していきます。

⑦ 地元住民の意識の向上

粟ヶ岳や茶草場農法に係る多様な情報について、ニュースレター発行や回覧板、HPの制作等により情報発信していきます。

⑧ 来訪者の実態やニーズの把握

粟ヶ岳に訪れる目的や交通手段の実態、あるいは求める改善点や交流プログラム等のニーズについて把握するアンケート調査を実施します。



東山茶呈茶サービスの様子



山頂からの眺め

3 事業スケジュール

1

世界農業遺産である
茶草場農法を守り
後世に継承する

名称	目標年度	担当課
①企業と連携した茶草場管理	継続事業	お茶振興課
②中山間地域直接支払補助事業制度の活用	平成 27～31 年度	農林課
③茶草場農法応援基金等の活用	平成 30 年度～	お茶振興課
④茶草場農法の優位性の研究	継続事業	お茶振興課
⑤獣害対策の推進	継続事業	農林課

2

魅力あふれる粟ヶ岳
山頂をつくる

①山頂部の案内サインの改修	平成 29～34 年度	商業観光課
②山頂部の遊歩道の改修	継続事業	商業観光課
③世界農業遺産ビジターセンターの整備	平成 30 年度	商業観光課・ お茶振興課
④山頂トイレの改修	平成 29～30 年度	商業観光課
⑤南平のトイレの維持管理の推進	継続事業	商業観光課
⑥南平の休憩施設の改修	平成 29～34 年度	商業観光課
⑦南平へのアクセス道路の整備	平成 29～39 年度	商業観光課

3

安全で快適な
アクセス道路をつくる

①待避所の設置及び補修	継続事業	土木課・維持管理課
②道路側溝の改善	継続事業	土木課・維持管理課
③道路沿道への案内サインの設置	平成 29～34 年度	商業観光課
④散策道沿道への休憩広場の整備	平成 29～34 年度	商業観光課
⑤自然散策道の改修	平成 29～34 年度	商業観光課
⑥新規散策道の整備	継続事業	生涯学習協働推進課
⑦散策道沿道へのトイレ整備の検討	継続事業	商業観光課
⑧散策道沿道への案内サインの設置	平成 29～34 年度	商業観光課
⑨土砂災害等への対応	継続事業	土木課・維持管理課

4

粟ヶ岳固有の美しい
景観を守り高める

①粟ヶ岳周辺の景観誘導	平成 30 年度～	お茶振興課
②眺望景観の保全と新たな眺望の確保	継続事業	商業観光課
③老朽桜の改植計画の策定	継続事業	商業観光課・ 地域支援課
④道路防護柵の改善	継続事業	維持管理課・ お茶振興課

5

地元主体と多様な
主体が連携した交流
プログラムを展開する

①森林を活かした交流プログラムの実施	継続事業	農林課・商業観光課
②粟ヶ岳に係るまちづくり協議会等の活動推進	継続事業	生涯学習協働推進課・ 農林課・お茶振興課
③外部団体等との連携	継続事業	商業観光課・農林課
④新たな交流拠点の整備の検討	継続事業	生涯学習協働推進課
⑤情報受信環境の改善	継続事業	商業観光課
⑥粟ヶ岳の魅力の情報発信	継続事業	商業観光課
⑦地元住民の意識の向上	継続事業	商業観光課
⑧来訪者の実態やニーズの把握	平成 29 年度	商業観光課